



5月12日

もっと身近に！ もっと楽しく！
 ～看護の心をみんなの心に～

“看護の日” イベント開催

5月12日は「看護の日」でした。当院では地域の皆様にたくさんご参加いただき、イベントを開催しました。看護の日とは、看護の母「ナイチンゲール」が生まれた日であり、これにちなみ5月12日に制定されました。

坂口理事長の開会の挨拶で幕が開き、今年4月に入職した新人看護師によるキャンドルサービスが行われました。



＜坂口理事長、開会のごあいさつ＞

ナイチンゲールは「ランプの貴婦人」と呼ばれ、クリミア戦争において、スクタリの病院でランプを手に夜遅くまで献身的に傷病兵を看護しました。

ランプの灯は、限りない愛の灯を掲げた彼女の敬虔な心を表しています。キャンドルサービスはその心を引き継ぐひとりとなったことを明かすセレモニーです。暗転した会場を柔らかく光るやさしい灯が包みこみました。



＜キャンドルサービス入場＞



＜キャンドルサービスの柔らかい光＞

高橋院長のお話では、中高年の方が気になる症状や病気をわかりやすく説明され、参加者の皆様も熱心に聞き入っておられました。人間は120歳まで生きられる！ 皆さんはまだまだお若い！ とお話された時には会場が笑顔と驚きに包まれました。



＜人間は120歳まで生きられる！ 高橋院長のおはなし＞

健康チェックでは身長・体重・血圧測定・骨密度を測定していただきました。毎年参加いただいている方も多く、「去年より良くなった」「骨が平均より良かった」など和気あいあいとした雰囲気になっていました。

また、栄養科手作りの「豆腐チーズケーキ」と「黒糖いろいろ」の試食コーナーでは、作り方なども教えてもらい「家でもしようかな」と言っておられる方もおられ、皆さん残すことなく召し上がっていただきました。



＜健康チェック＞



＜栄養科手作りのお菓子＞

今回のイベントでは「大変勉強になった」「毎年楽しみにしています」「今後も続けてほしい」などうれしい感想をいただきました。イベントを通して地域の方々とより親密に触れ合うことができ、少しでも健康づくりのお手伝いが出来たとうれしく思っています。これからもより親しみやすい病院となるよう努力し、多くの方に参加していただけるような企画を今後も継続していきたいと思っております。ありがとうございました。